平成２２年度
東大阪市商業振興事業
事例集

東大阪市経済部商業課

作成の趣旨

本市商業振興補助金制度は、商店街や小売市場等の市内中小小売商業団体が行う事業に対し補助金を交付することにより、市内中小小売商業の振興と育成を図ることを目的としています。

しかし、実際に商店街・小売市場の皆様が活性化事業に取り組むにあたっては、具体的なイメージづくりが困難であったり、また、補助金を活用しづらい現状となっており、取り組みの“きっかけ”となる材料が求められていました。

そこで、商店街・小売市場がより具体的・実践的に活性化策に取り組める“きっかけ”づくりとして、東大阪市内の商店街・小売市場の活性化事例のうち、参考となり、かつ代表的なものを取りまとめ発信することを目的に「平成 22 年度版東大阪市商業振興補助事業事例集」を作成いたしました。

商店街は単に買い物の場としてだけではなく、地域のコミュニティーの場としての機能を併せ持つものであり、その活性化は大変意義深いものであります。

この事例集が参考となり、商店街・小売市場の新たな取り組みが各地域で行われ、活性化が図られることを期待するとともに、当事例集を関係団体・機関にも普及宣伝し、元気な商店街や小売市場の取り組みに繋がるよう支援してまいります。

平成２３年１２月

東大阪市 経済部 商業課

目次（掲載事例一覧）

１．商業集積地魅力アップ事業　掲載ページ

岩田本通商店街振興組合『岩田本通商店街イメージアッププロジェクト』……1

スマイル瓢箪山『スマイル地域密着プロジェクト』……2

イナリ前商店街振興組合『瓢箪山南地域魅力アップ計画づくり』……3

２．商店街と地域（大学等）の連携事業

布施商店街連絡会『商学連携事業』……4

石切参道商店街振興組合『いしきりん展開における商学連携事業』……5

スマイル瓢箪山『スマイル地域連携プロジェクト』……6

近大前商店会『COCOIKU 事業』……7

３．プレミアム商品券発行事業

布施商店街連絡会『布施商店街合同企画　布施の商品券販売』……8

東大阪市金岡商店会『商品券発行事業（金岡商店会商品券）』……9

４．商店街 PR 事業

石切参道商店街振興組合『地域内外における石切ブランド PR 活動事業』……10

５．空き店舗情報発信事業

東大阪市小売商業団体連合会……11

６．商業振興コーディネート事業

劇場通りプロジェクト実行委員会……12

７．人材育成事業（東大阪あきんど塾事業）……13

8．東大阪物産観光まちづくりセンター（アンテナショップ）事業……14

注）本事例集では、平成２２年度に市内商店街や小売市場等において実施された活性化事業のうち、代表的なものや、他の商店街等のモデル・参考となりうる事業をピックアップして掲載しています。全事業を掲載しているわけではありませんのでご了承下さい。

事例１　岩田本通商店街振興組合

若江岩田

『商業集積地魅力アップ事業』

ポイント
若手商業者が中心となり製作した商店街ガイドマップの配布、街路灯フラッグの作成、イルミネーション設置等のプロジェクトを通じて地域密着型の商店街づくりとイメージアップ　！

近年、駅前再開発や駅近マンションの完成により、駅周辺が整備されつつあり、新たに転入された方や地元住民への情報発信ツールとして、商店情報を盛り込んだガイドマップを作成しました。

実施主体は、商店街の２代目店主等の若手商業者がメンバーの中心となっており、ガイドマップを各店舗やイベント等で配布することにより、「マップがあることで、どこに何の店があるか非常にわかりやすい」と好評を得ました。

また、商店街のイメージアップと景観の統一を図るべく、イルミネーションと街路灯フラッグを設置、「商店街が明るくなることにより安心して歩くことができる」との声があり、商店街及び地域活性化につながる事業となりました。

○実施場所　岩田本通商店街振興組合
○団体名　　岩田本通商店街振興組合
○事業名　　岩田本通商店街イメージアッププロジェクト
○実施日　　平成 22 年８月～平成 23 年３月
○活用補助金名　商業集積地魅力アップ事業補助金

『商業集積地魅力アップ事業』

事例2　スマイル瓢箪山

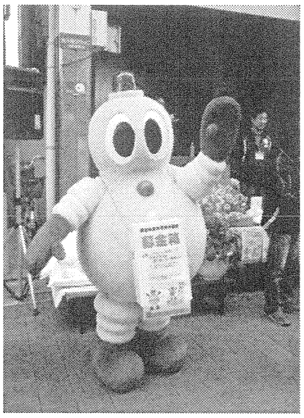
瓢箪山

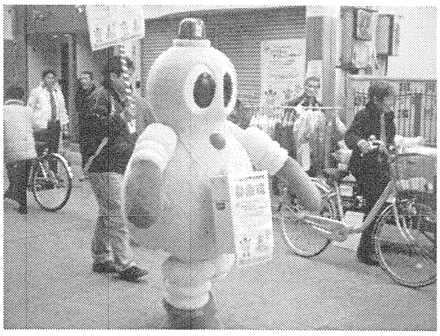
ポイント
「地元愛」を深めるべく商店街のオリジナル CD を地元ミュージシャンと製作。商店街マスコットキャラクター「せんなりくん」も誕生！

地元ミュージシャンが楽曲を手がけた瓢箪山商店街テーマソング「♪スマイルひょうたんやま♪」のオリジナル CD を製作し（7 月の七夕夜市で発表）、地元小学校や自治会、企業など、地域を構成されている皆様に広く普及させ、瓢箪山地域への関心や愛着を深める取組みを推進しました。

また、瓢箪山地域オリジナルキャラクターづくりを通じて商店街への集客効果を高めるべく、地域資源である「ひょうたん」をモチーフにした「せんなりくん」が誕生しました。（平成 23 年 3 月の東日本大震災チャリティーオークション開催時にお披露目）

今後は商店街への集客ツールとして積極活用を図っていきます。





○実施場所　スマイル瓢箪山
○団体名　　スマイル瓢箪山
○事業名　　スマイル地域密着プロジェクト
○実施日　　平成 22 年7月～平成 23 年 3 月
○活用補助金名　商業集積地魅力アップ事業補助金

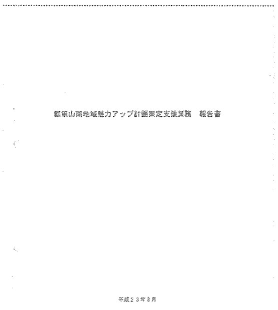
『商業集積地魅力アップ事業』

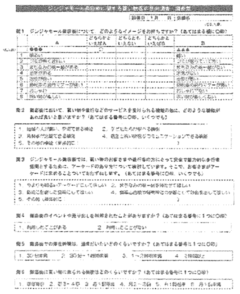
ポイント
地域住民や消費者との協業により「瓢箪山南地域魅力アップ計画」を策定。次年度以降の商店街事業計画（アウトプット）に活かす。

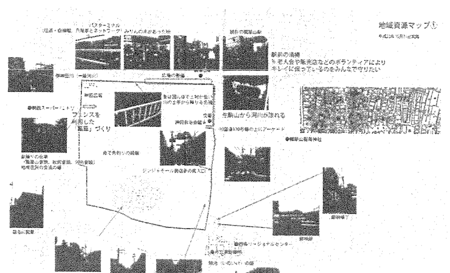
瓢箪山稲荷神社の門前町としての魅力を引き出し、地域・消費者の皆様に愛される商店街として生まれ変わる必要があるため、近鉄瓢箪山駅南側の商業集積地域ならではの魅力アップ計画を地元自治会や買物客等の協力を仰ぎながら策定しました。

策定にあたっては、まち歩きワークショップ形式による地域資源探しを実施し、当地域の核となる地域資源である「瓢箪山稲荷神社の門前町」としての風情を活かした商店街の景観づくりや地域づくりにかかるルールを中心に、ハード整備も視野に入れ、今後３年～５年の行動計画を策定しました。

計画の構成は地域の沿革や現状、課題の把握、将来像から行動計画までを網羅しており、今後は策定した計画をベースに当商店街の愛称である「ジンジャモール（モール⇒街並み）」のアイデンティティを発揮するべく、これまで十分に連携や活用を図ってこれなかった瓢箪山稲荷神社を中心とした個性化を図り、瓢箪山南地域の玄関口として地域の方や来街者の方々にも強く訴求、PRしていくことで、明るく安全で快適に買物いただけるまちづくりにつなげていくこととしています。







〇実施場所　イナリ前商店街振興組合
〇団体名　　イナリ前商店街振興組合
〇事業名　　瓢箪山南地域魅力アップ計画策定事業
〇実施日　　平成22年9月～平成23年3月
〇活用補助金名　商業集積地魅力アップ事業補助金

事例4　布施商店街連絡会

布施

『商店街と大学との連携事業』

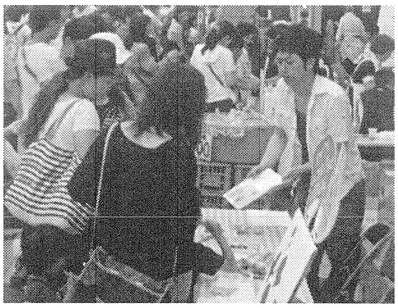
ポイント
大阪商業大学（中嶋ゼミ）との連携により、商業者の視点だけでなく、学生の視点からアイデアを取り入れ、プロジェクトを実践。

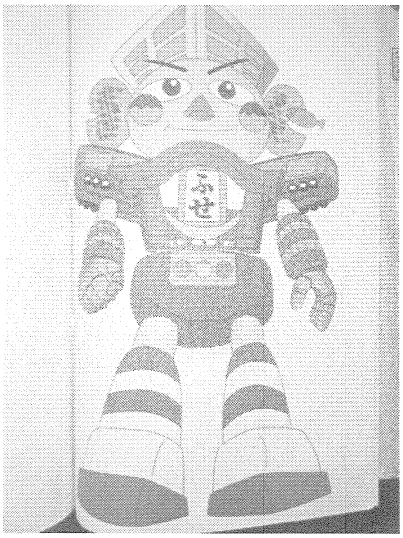
布施商店街連絡会と大阪商業大学 OBP コース（中嶋ゼミ）が連携し、調査研究と事業実施に取り組みました。

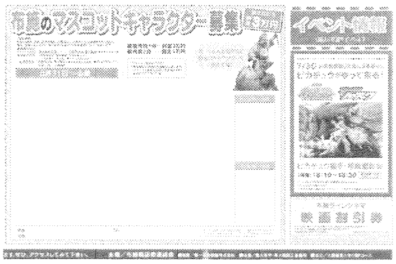
今回学生の企画提案を活かし商店街が実施した「１００円笑店街」は集客効果を発揮し、午前中で売り切れるお店も続出、大盛況となりました。

また、布施商店街のマスコットキャラクターについては一般公募を行い、選出作品「ふせロボくん」を実体にするためのデザインづくりに取り組みました。

その他にもプロバスケットボールbjリーグに所属する大阪エヴェッサの選手を招いてのイベント開催企画、プレミア付商品券事業（ニコニコえびす券）とタイアップした布施えびすカード（ビンゴカード）の実践、「東大阪検定」の実施、商店主、来街者等にアンケート調査を行うなど、大学生ならではの行動力と企画力を存分に発揮し、今後の商店街活動への羅針盤となるプロジェクトとなりました。







○実施場所　布施商店街
○団体名　　布施商店街連絡会
○事業名　　布施商店街連絡会　商学連携事業
○実施日　　平成 22 年７月～平成 23 年３月
○活用補助金名　地域等連携事業補助金

石切

事例5 石切参道商店街振興組合

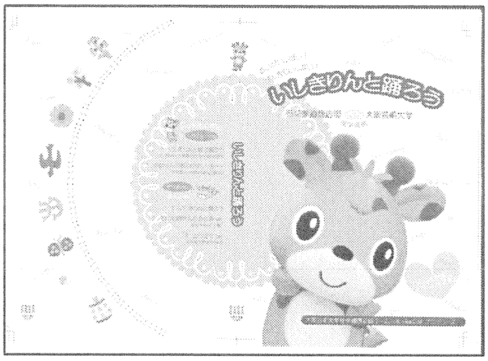
『商店街と大学との連携事業』

ポイント
大阪芸術大学と連携することで、商店街キャラクター「いしきりん」を中心とした広報活動にかかるアイデアやノウハウを引き出し、商店街の魅力を効果的にPR。

大阪芸術大学との連携により、「いしきりん体操」の考案、体操取扱説明書、無料配布用DVDサンプルを作成しました。サンプルを作成することで、今後の「いしきりん」の広報活動につなげるとともに、商店街への集客や広報そのものの高まりに直接結びつけながら、相乗的な認知度向上を図りました。

「大阪芸術大学の学園祭」、「いしきりんフェスティバル」では、「いしきりんブース」を設置し、来訪者に積極的な広報活動を行いました。

「いしきりんフェスティバル」でのアンケート結果においては、「いしきりん」について非常に多くの応援メッセージが寄せられ、充実した広報活動となりました。



○実施場所　石切参道商店街・大阪芸術大学他
○団体名　石切参道商店街振興組合
○事業名　商店街キャラクター「いしきりん」展開における商学連携事業
○実施日　平成22年8月～平成23年3月
○活用補助金名　地域等連携事業補助金

スマイル瓢箪山

瓢箪山

事例6

『商店街と大学との連携事業』

ポイント

これからの商店街活動の推進にあたっては、共通の地域課題解決に取り組む担い手の数を増やしていくことが重要であるとの認識のもと、これまでの大阪商業大学に加え、瓢箪山地域まちづくり協議会との連携を推進。

平成17年度よりスマイル瓢箪山では大阪商業大学と連携し商店街活性化に取り組んできました。平成22年度は、より一層地域での活動の輪を広げるべく、「瓢箪山地域まちづくり協議会」とも連携し、地域に根ざした商店街づくりに向けた事業を企画・実施しました。

まず、11月に大阪商業大学酒井ゼミの企画・コーディネート、まちづくり協議会の協力により「瓢箪山ふれあい感謝祭」として、小学生の販売体験や地場野菜の朝市、酒井ゼミの研究テーマ「地域通貨導入システム」の実証実験を実施しました。

また、2月に瓢箪山稲荷神社で開催された初午祭にあわせ、商大生の発案で製作された瓢箪みこしを干支である兎に模し、リニューアルしたものを地元小学生や保育園児に担いで商店街内を練り歩いてもらう「ちびっ子神輿パレード」を実施しました。

とりわけ瓢箪山商店街はこれまで自治会や地域との結びつきが強く、つなぎ役には商店街はもちろんのこと、大学生にも行動力やアイデアをフル活用していただき、今回の取組みをきっかけとして、さらなる地域交流の促進や商店街のファンづくりにつながることが期待されています

○実施場所　　スマイル瓢箪山
○団体名　　　スマイル瓢箪山
○事業名　　　スマイル地域連携プロジェクト
○実施日　　　平成22年11月～平成23年3月
○活用補助金名　地域等連携事業補助金

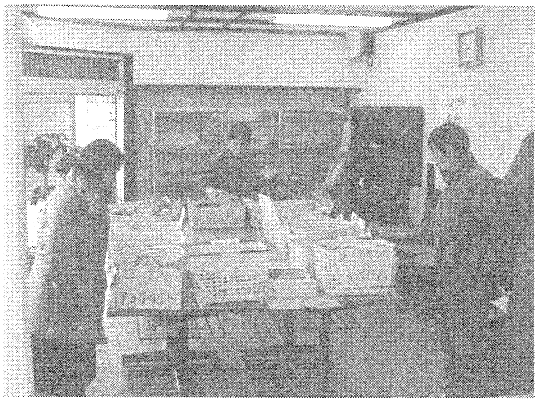
事例7　近大前商店会　長瀬

『商店街と地域との連携事業』

ポイント
自治会、NPOと連携して「朝市」、「ロボット教室」を商店街の空き店舗を活用して定期開催。課題であった商店街周辺の地域住民との交流を促進！

商店街の空き店舗を活用して開設した地域交流拠点「いどばた広場」をステージに、商店街の課題であった「地域との交流不足」の解消に向けて商店街として積極的に行動をおこしました。

事業展開にあたっては、地元自治会およびＮＰＯと連携して、独居高齢者等の「買物行動への動機付けと外出支援」、新鮮野菜の「健康朝市」、子供をターゲットにした「ロボット教室」を定期開催し、地域住民とのコミュニケーションを高めるとともに交流を深めることができました。



○実施場所　　いどばた広場（近大前商店会内）
○団体名　　　近大前商店会
○事業名　　　ＣＯＣＯＩＫＵ事業
○実施日　　　平成22年7月～平成23年3月
○活用補助金名　地域等連携事業補助金

布施

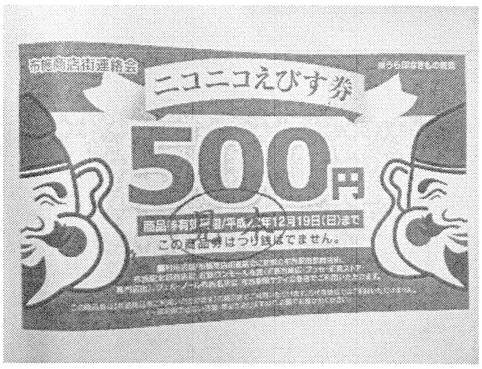
事例8　布施商店街連絡会

『消費喚起事業』

ポイント
布施駅周辺の商店街・小売市場・大型店等で使用できるプレミア付共通商品券を発行し消費を喚起。

歳末の布施地域の消費喚起を図ることを目的に、布施駅周辺の商店街・小売市場・大型店を含む登録店舗で利用できる布施の共通商品券（ニコニコえびす券、500 円 22 枚綴り）を発行総額 3,300 万円分（10%プレミア付き）販売しました。

プレミア付商品券の販売に加え、ダブルチャンスとして商品券購入者を対象に「布施えびすカード（ビンゴカード）」を配布し、布施戎神社で空くじなしの抽選会を開催するなど、地域資源である「えべっさん」をフル活用し、創意工夫を凝らした地域密着型の販売促進事業となりました。



○実施場所　布施駅周辺商店街
○団体名　　布施商店街連絡会
○事業名　　布施商店街合同企画
　　　　　　「布施の共通商品券販売」
○実施日　　平成 22 年 12 月
○活用補助金名　地域力強化事業補助金

事例9

東大阪市金岡商店会

弥刀

『消費喚起事業』

> **ポイント**
> 　商店街でプレミア付共通商品券「金岡商店会商品券」を発行することで消費喚起と商店街の魅力アピール。

　商店街で利用できる共通商品券を発行しました。共通商品券の構成は利便性を考慮して１００円券と５００円券の２種類を用意し、好評ですぐに完売となり、商店街各店の魅力をアピールすることができました。
　また、商品券に有効期限を設けることにより（１月３１日まで）年末年始の買い物に商店街を利用される方が増え、商店街の集客力向上に寄与しました。

○実施場所　東大阪市金岡商店会
○団体名　　東大阪市金岡商店会
○事業名　　商品券発行事業
○実施日　　平成 22 年 11 月～平成 23 年 1 月
○活用補助金名　地域力強化事業補助金

事例 10

石切参道商店街振興組合

石切

『商店街広報活動』

ポイント
商店街のブランド力や魅力を商店街キャラクター「いしきりん」を媒介して地域内外でPRすることにより、商店街の集客力アップを狙う。

地域内外計38箇所において、「石切ブランドセレクション商品」を中心とした出張販売や商店街PR紙の配布、ゆるきゃらイベントへの参加等を実施しました。

商店街キャラクター「いしきりん」を広報ツールに、石切参道商店街のブランド力を様々なイベントで広く訴求することができ、商店街の魅力の再発見に寄与することができました。

また、「いしきりん」を見るために遠方から商店街に来街される方も増え、集客力アップにも寄与しました。

○実施場所　地域内外38箇所
○団体名　　石切参道商店街振興組合
○事業名　　地域内外における石切ブランドPR活動事業
○実施日　　平成22年8月～平成23年3月
○活用補助金名　地域資源活用・広域集客型支援事業補助金

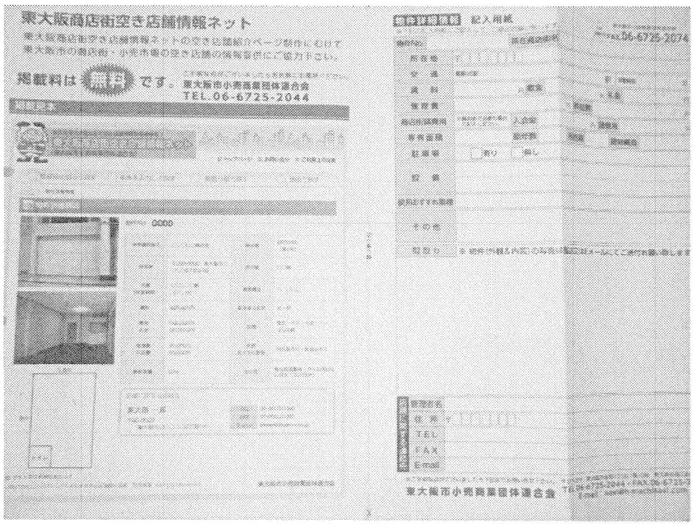
東大阪市小売商業団体連合会

事例 11

『空き店舗情報発信事業』

ポイント
市内商店街の空き店舗情報を集約し、インターネットを活用した情報発信システム「東大阪空き店舗情報ネット」を構築。空き店舗を活用した開業支援を図る。

商店街の空き店舗が減少しない原因のひとつに「貸したくても借り手がいない、借りたくても情報ソースがない」等の貸し手と借り手のニーズのアンマッチ問題があり、課題解決のために市内商店街の空き店舗情報を地権者や不動産取引業者等の協力のもと収集し、ホームページ上で発信するシステム「東大阪空き店舗情報ネット」を構築しました。
(http://www.h-machinavi.com/akitenpo/index.php)
コンテンツは商店街・小売市場の紹介ポータルサイト「ひがしおおさかまちナビサイト」内に掲載し、ページ内に空き店舗活用促進事業補助金等の市の補助金施策を掲載し、サイト間連動が図れるよう工夫しています。
今後サイトの認知度向上策と実際に開業希望者が空き店舗で開業するまでの間の事業サポートが期待されます。



○実施場所　市内全商業集積地域
○団体名　　東大阪市小売商業団体連合会
○事業名　　東大阪市空き店舗情報発信事業
○実施日　　平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月
○活用補助金名　空き店舗情報収集発信事業補助金

事例 12

劇場通りプロジェクト実行委員会

長瀬

『商業振興コーディネート事業』

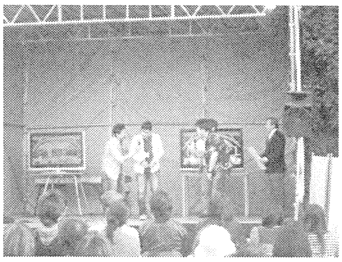
ポイント
長瀬駅前の大学通りの３商店街が、近畿大学、地域住民、NPO 等と協働、連携して地域の賑わいづくりを目指すプロジェクト「劇場通りプロジェクト」を立ち上げた。
コーディネーターのもと、ビジョン策定（大学通り商店街グランドデザイン案）と社会実験（CM コンテスト）の企画に取り組んだ。

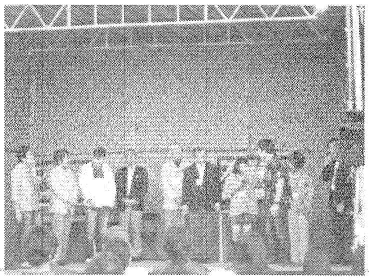
近鉄長瀬駅から近畿大学までの大学通り商店街を中心とした長瀬商業集積地域が「平成 22 年度東大阪市モデル地区商業振興コーディネート事業」のモデル地区指定を受けました。

商店街が抱える課題として、「住民や大学との関わりが希薄である」、「取り組み体制が長続きしない」、「活動場所が不足している」等の課題がありました。

そこで、コーディネーターのもと、「映像」を使って大学通りの魅力を創造・発信し、賑わいづくりを目指す、「劇場通りプロジェクト実行委員会」を結成し、近畿大学、地域住民の方々と連携しながら、地域の賑わいづくりを目指した取組「劇場通りプロジェクト」を進め、プロジェクトの集大成として、商店街のお店と、学生や地域の方々が協働して制作した、お店のコマーシャルムービー（60 秒ＣM）のコンテストを開催しました（平成 23 年 5 月実施）。一次審査を通過し、最終審査に勝ち残った１０作品を発表・審査し、グランプリが決定、また、東日本震災復興チャリティーイベントや、昔懐かしい長瀬の地域や大学通りの写真展等も同時開催されました。

商店街の将来ビジョン「大学通り商店街グランドデザイン案」も策定しました。





○実施場所　　近畿大学通り商店街
○団体名　　　劇場通りプロジェクト実行委員会（近大前商店会ほか）
○事業名　　　商業振興コーディネート事業（劇場通りプロジェクト）

※CM コンテストは「平成２３年度にぎわいづくり事業補助金」の助成を受けて、平成２３年5月 15 日に開催

事例 13

東大阪あきんど塾

『人材育成事業（東大阪あきんど塾）』

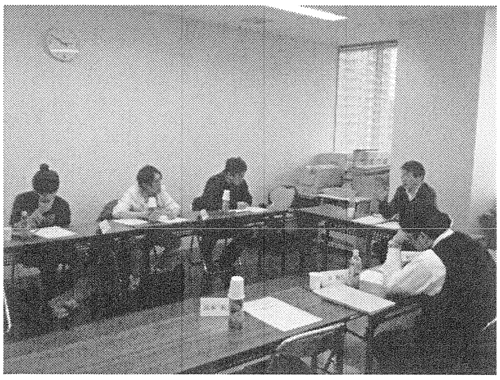
ポイント

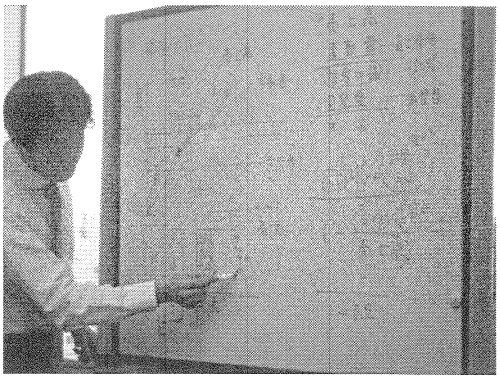
「小さなお店でも繁盛店になれる」をキャッチフレーズに、商店経営力向上のため、小売・飲食・生活関連・サービス業向けのセミナーを開催。さらに、セミナーの実践を図るために受講生店舗へのアドバイザー派遣を実施。受講生満足度が非常に高い事業。

地域商業の経済的機能強化を目的に、経営改善に取り組む意欲ある商業者に対して、魅力ある個店づくりに必要な経営改善のノウハウを培い、次代を担う商店経営者の人材育成、市内商店街・小売商業全体の振興や活性化を図るため、専門家を講師に迎え、「マーケティング戦略」「販売促進」「財務分析」等のカリキュラム（年間１０回）でのセミナー「東大阪あきんど塾」を開催。

その後、あきんど塾で学んだことを実践するべく、受講生の店舗へのアドバイザー派遣を実施しました。

受講生からは、「商品仕入のノウハウを学ぶことができた」「集客力向上に繋がるチラシの作成方法がよかった」「アドバイザー派遣により、店舗独自の悩みについて相談でき非常に勉強になった」等、多くの意見が寄せられ、受講生にとって満足度の高い効果的な事業となりました。





○実施場所　東大阪市役所ほか
○実施期間　平成 22 年　6月　受講生募集
　　8月～　あきんど塾開講（カリキュラム計１０回）
　　12月～　アドバイザー派遣の実施
○事業名　東大阪あきんど塾

事例 14　東大阪物産観光まちづくりセンター

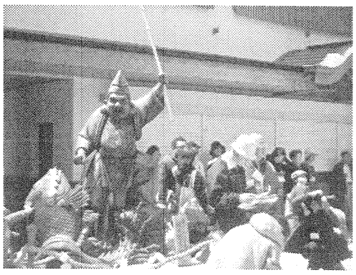
『東大阪物産観光まちづくりセンター事業』

ポイント
オープン１周年を迎え、記念イベントの開催や出張販売、まちあるき等の活動が充実。東大阪市の魅力と認知度の更なる向上を目指す。

平成２１年に石切参道商店街内に開設したアンテナショップ、東大阪物産観光まちづくりセンター「めっけもん　もうけもん　まいど！東大阪」にて東大阪の地元銘菓や調味料等の特産品、東大阪ブランドに認定された生活便利グッズを引き続き販売しました。

また、平成 22 年 10 月にはオープン１周年を記念して、「1 周年記念限定商品の販売」、「空クジなし抽選会」、「野菜袋詰め放題均一セール」、「似顔絵コーナー」、「絵てがみ展示」、「いしきりん、トライくん握手会・撮影会」等の盛りだくさんのイベントを開催しました。

他にも、他地域との交流や PR を目的とした出張販売事業（市内商店街のイベント参加・ゆるキャラまつりへの参加等）や、「東大阪の見どころ」を探訪するまち歩き活動等、積極的に事業に取り組みました。



○実施場所　東大阪物産観光まちづくりセンター（石切参道商店街内）
○実施期間　平成 22 年４月～平成 23 年３月
○実施主体　東大阪観光協会

平成２２年度

東大阪市商業振興事業

事例集

編集：東 大 阪 市 経 済 部 商 業 課

〒577－8521　東大阪市荒本北１丁目１番１号
TEL（06）4309−3176
FAX（06）4309−3846
E-mail　shogyo@city.higashioska.lg.jp